

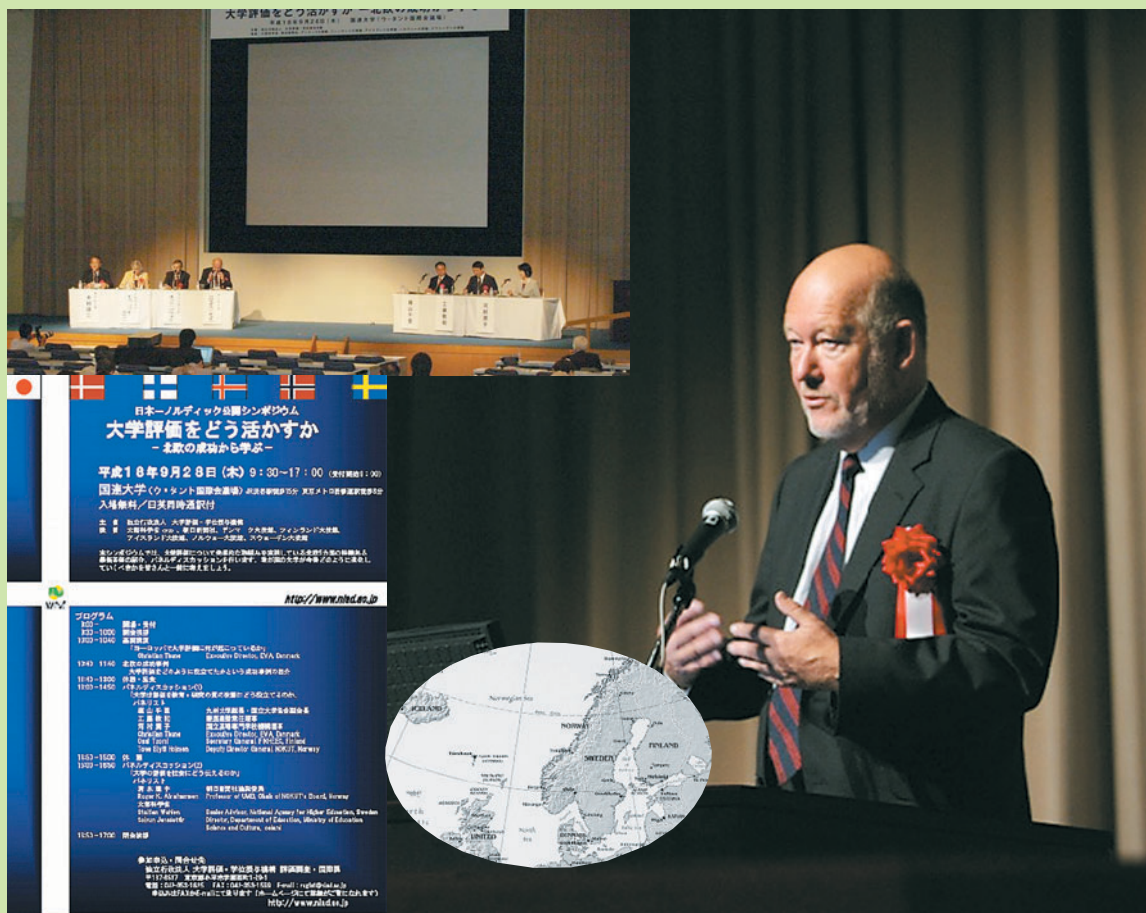
独立行政法人 大学評価・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and University Evaluation

機構ニュース

第 43 号

2006 Autumn



日本ーノルディック公開シンポジウム（2006.9.28）

主な記事

◆大学評価事業の状況 1

◆機構の窓 7

◆学位授与事業の状況 5

目 次

◆大学評価事業の状況

■大学機関別認証評価について

○大学機関別認証評価に関する説明会の開催	1
○大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会の開催	1
○大学機関別認証評価 評価担当者に対する研修の実施	1

■短期大学機関別認証評価について

○短期大学機関別認証評価に関する説明会の開催	2
○短期大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会の開催	2
○短期大学機関別認証評価 評価担当者に対する研修の実施	2

■高等専門学校機関別認証評価について

○高等専門学校機関別認証評価に関する説明会の開催	3
○高等専門学校機関別認証評価 評価担当者に対する研修の実施	3

■法科大学院認証評価について

○法科大学院認証評価に関する説明会の開催	3
○法科大学院認証評価（予備評価）評価担当者に対する研修の実施	4

■国立大学教育研究評価について

■大学情報データベースの試行的構築について

◆学位授与事業の状況

■短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○384人に学士の学位を授与 -平成18年度4月期申請分-	5
○学位授与申請に関する説明会の開催	5

■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○107人に修士の学位を授与 -大学院修士課程相当の課程修了者-	6
○6人に博士の学位を授与 -大学院博士課程相当の課程修了者-	6

◆機構の窓

○会議の開催状況	7
○研究部研究会開催状況	8
○ユネスコ/OECD「国境を越えて提供される高等教育の 質保証に関するガイドライン」研修会の実施	9
○台湾師範大学教育評価・発展研究センター一行が機構を来訪	9
○公開講演会「授業評価で大学をどう変えるか —アメリカにおける取組みと成果—」の開催	10
○日本—ノルディック公開シンポジウムの開催	11
○学位授与事業の現状と課題に関する研究会（第2回）の開催	12
○委員の異動	13
○人事異動（平成18年9月）	13
○中学生の職場体験学習を実施	13

大学評価事業の状況

大学機関別認証評価について

○ 大学機関別認証評価に関する説明会の開催

国公立大学の評価担当者等を対象として、当機構が実施する大学機関別認証評価の趣旨・目的、実施方法等についての説明を行うため、「大学機関別認証評価に関する説明会」を以下の日程で行いました。

説明会には、国立69大学、公立16大学、私立33大学の合計118大学から参加がありました。

平成18年6月26日(月)の東京会場における説明

会では、冒頭の木村機構長の挨拶、木村評価研究部長による「機関別認証評価実施大綱」の説明、荻上教授による「評価基準（機関別認証評価）」の説明、齊藤助教授による「自己評価実施要項及び評価実施手引書等」の説明、加藤評価事業部長による「申請手続きについて」の説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

<大学機関別認証評価に関する説明会 日程>

会 場	開 催 日 時	会 場
東 京	平成18年6月26日(月)	学術総合センター
大 阪	平成18年7月10日(月)	チサンホテル新大阪
福 岡	平成18年7月19日(水)	ホテル日航福岡

○ 大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会の開催

国公立大学の評価担当者等を対象として、自己評価書の作成等について説明を行うため、「自己評価担当者等に対する研修会」を以下の日程で行いました。

研修会には、国立68大学、公立14大学、私立16大学の合計98大学から参加がありました。

平成18年6月27日(火)の東京会場における研修会では、齊藤助教授による「自己評価の方法等について」の説明、荻上教授及び齊藤助教授による「評価基準及び選択的評価事項の分析に当たっての留意点について」の説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

<大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会 日程>

会 場	開 催 日 時	会 場
東 京	平成18年6月27日(火)	学術総合センター
大 阪	平成18年7月11日(火)	チサンホテル新大阪
福 岡	平成18年7月20日(木)	ホテル日航福岡

※上記の説明会及び研修会の配付資料については、当機構のウェブサイト(<http://www.niad.ac.jp/>)に掲載しています。

○ 大学機関別認証評価 評価担当者に対する研修の実施

平成18年度に実施する大学機関別認証評価をより実効性の高いものとするため、平成18年7月3日(月)及び7月4日(火)の両日に機構の評価担当者を対象として、評価の目的、内容及び方法等について研修を行いました。冒頭の川口理事の挨拶の後、荻上教授による「機構が実施する機関別

認証評価について」の説明、齊藤助教授による「評価基準について」の説明、荻上教授による「実際の評価作業について」、「選択的評価事項について」及び「評価担当者としての留意事項等」の説明があり、その後、評価担当者との間で活発な質疑応答が行われました。

短期大学機関別認証評価について

○ 短期大学機関別認証評価に関する説明会の開催

公私立短期大学の評価担当者等を対象として、当機構が実施する短期大学機関別認証評価の趣旨・目的、実施方法等についての説明を行うため、「短期大学機関別認証評価に関する説明会」を以下の日程で行いました。

説明会には、公立6短期大学、私立15短期大学の合計21短期大学から参加がありました。

平成18年6月15日（木）の東京会場における説

明会では、冒頭の川口理事の挨拶、木村評価研究部長による「機関別認証評価実施大綱」の説明、荻上教授による「評価基準（機関別認証評価）」の説明、齊藤助教授による「自己評価実施要項及び評価実施手引書等」の説明、加藤評価事業部長による「申請手続きについて」の説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

<短期大学機関別認証評価に関する説明会 日程>

会 場	開 催 日 時	会 場
東 京	平成18年6月15日（木）	学術総合センター
大 阪	平成18年7月10日（月）	チサンホテル新大阪
福 岡	平成18年7月19日（水）	ホテル日航福岡

○ 短期大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会の開催

公私立短期大学の評価担当者等を対象として、自己評価書の作成等について説明を行うため、「自己評価担当者等に対する研修会」を以下の日程で行いました。

研修会には、公立4短期大学、私立7短期大学の合計11短期大学から参加がありました。

平成18年6月16日（金）の東京会場における研修会では、齊藤助教授による「自己評価の方法等について」の説明、荻上教授及び齊藤助教授による「評価基準及び選択的評価事項の分析に当たっての留意点について」の説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

<短期大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会 日程>

会 場	開 催 日 時	会 場
東 京	平成18年6月16日（金）	学術総合センター
大 阪	平成18年7月11日（火）	チサンホテル新大阪
福 岡	平成18年7月20日（木）	ホテル日航福岡

※上記の説明会及び研修会の配付資料については、当機構のウェブサイト（<http://www.niad.ac.jp/>）に掲載しています。

○ 短期大学機関別認証評価 評価担当者に対する研修の実施

平成18年度に実施する短期大学機関別認証評価をより実効性の高いものとするため、平成18年7月3日（月）及び7月4日（火）の両日に機構の評価担当者を対象として、評価の目的、内容及び方法等について研修を行いました。冒頭の川口理事の挨拶の後、荻上教授による「機構が実施する機

関別認証評価について」の説明、齊藤助教授による「評価基準について」の説明、荻上教授による「実際の評価作業について」、「選択的評価事項について」及び「評価担当者としての留意事項等」の説明があり、その後、評価担当者との間で活発な質疑応答が行われました。

高等専門学校機関別認証評価について

○ 高等専門学校機関別認証評価に関する説明会の開催

国公立高等専門学校の評価担当者等を対象として、当機構が実施する高等専門学校機関別認証評価の趣旨・目的、実施方法等についての説明を行うため、「高等専門学校機関別認証評価に関する説明会」を平成18年6月14日（水）にキャンパス・イノベーション・センターにおいて行いました。

説明会には、国立28校、公立2校、私立1校の合計31校から参加がありました。

説明会では、冒頭の川口理事の挨拶、木村評価

研究部長による「高等専門学校機関別認証評価」の説明、青木教授による「高等専門学校評価基準（機関別認証評価）」の説明、野澤教授による「自己評価実施要項」、「評価実施手引書」及び「訪問調査実施要項」の説明、八田評価第2課長による申請手続きについての説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

なお、説明会の配付資料を当機構のウェブサイト（<http://www.niad.ac.jp/>）に掲載しています。

○ 高等専門学校機関別認証評価 評価担当者に対する研修の実施

平成18年度に実施する高等専門学校機関別認証評価をより実効性の高いものにするため、平成18年6月22日（木）～6月23日（金）の2日間にかけて機構の評価担当者を対象として、評価の目的、内容及び方法等について研修を行いました。初日には、冒頭の川口理事の挨拶の後、木村評価研究部長による「高等専門学校機関別認証評価」の説明、野澤教授による「評価の実施に当たって」の

説明、青木教授と野澤教授による「各基準の分析に当たっての留意点等について」の説明が行われました。2日目には、1日目に引き続き「各基準の分析に当たっての留意点等について」の説明が行われた後に、「評価一連のシミュレーション」の実施、青木教授による「評価担当者としての留意事項等について」の説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

法科大学院認証評価について

○ 法科大学院認証評価に関する説明会の開催

法科大学院を置く国公立大学の評価担当者を対象として、当機構が実施する法科大学院認証評価の趣旨・目的、実施方法等についての説明を行うため、「法科大学院認証評価に関する説明会」を平成18年6月8日（木）に都市センターホテルにおいて行いました。

説明会には、国立18大学、公立2大学、私立18大学の合計38大学及び関係団体2機関から参加がありました。

説明会では、冒頭の木村機構長の挨拶、木村評

価研究部長による「法科大学院認証評価について」の説明、磯部特任教授による「法科大学院評価基準要綱」、「自己評価実施要綱」、「評価実施手引書」及び「訪問調査実施要項」の説明並びに加藤評価事業部長による「申請手続きについて」の説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

なお、説明会の配付資料を当機構のウェブサイト（<http://www.niad.ac.jp/>）に掲載しています。

○ 法科大学院認証評価（予備評価）評価担当者に対する研修の実施

平成18年度に実施する法科大学院認証評価（予備評価）をより実効性の高いものにするため、平成18年6月26日（月）に機構の評価担当者を対象として、評価の目的、内容及び方法等について研修を実施しました。冒頭の木村機構長の挨拶の後、木村評価研究部長による「法科大学院認証評価に

ついて」の説明、磯部特任教授による「法科大学院評価基準要綱」、「自己評価実施要綱」及び「評価実施手引書」の説明、下大田法科大学院評価課長による「評価担当者としての留意事項について」の説明があり、その後、評価担当者との間で活発な質疑応答が行われました。

国立大学教育研究評価について

国立大学法人法の規定に基づき文部科学省の国立大学法人評価委員会からの要請を受けて行う評価の実施方法について、国立大学教育研究評価委員会及び同委員会ワーキンググループにおいて、継続的に審議を重ねています。

平成18年6月19日（月）開催の文部科学省国立

大学法人評価委員会総会において、これまでの検討状況等について報告しました。

現在は、文部科学省国立大学法人評価委員会から示された「大学評価・学位授与機構が行う教育研究水準の評価の在り方について」を踏まえた検討を行っています。

大学情報データベースの試行的構築について

平成17年度に引き続き、既存調査との整合性の確保、作業負担軽減のための集計単位の見直し、定義付けの見直しなど、協力法人からの意見を踏まえたデータ項目の検討や利便性の向上を図るためのシステム改修を行うなど、大学情報データ

ベースの試行的構築を行っています。

また、試行的構築の状況等については、年度内に開催を予定している公開セミナーでお知らせすることを検討しています。

学位授与事業の状況

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○ 384人に学士の学位を授与

—平成18年度4月期申請分—

平成18年度4月期における学士の学位授与申請を受け付けた結果、20専攻分野40専攻区分にわたる445人から申請があり、6月18日（日）に小論文試験（札幌、東京、大阪及び福岡地区）と面接試験（東京地区）を実施しました。

学士の学位授与については、関係各専門委員会での修得単位の審査及び学修成果・試験の審査の結果に基づき、8月25日（金）開催の学位審査会において最終審査が行われ、合格と判定された384人に対し学士の学位を授与しました。

申請者数及び取得者数は次表のとおりです。

＜平成18年度4月期の申請者数・取得者数＞ （基礎資格別）

基 礎 資 格	申請者数 （人）	取得者数 （人）
短期大学卒業生	243	220
高等専門学校卒業生	30	21
専門学校修了者	137	116
大学中退者	17	13
飛び級	6	5
大学卒業生	12	9
合 計	445	384

○ 学位授与申請に関する説明会の開催

機構では、平成18年6月下旬及び8月下旬に5商船高等専門学校（富山、鳥羽、広島、大島、弓削）の教職員を対象に、学位授与申請書類の記入方法や注意事項等に関する説明会を開催しました。この説明会は、商船高専の指導教員等が申請時の諸注意等を熟知し、専攻科1期生が学位授与申請を行う際の指導に役立てることを目的として開催しました。

開催日及び開催校は次のとおりです。

6月26日（月） 弓削商船高等専門学校
（広島、大島及び弓削の3商船高専を対象に開催）
8月29日（火） 富山商船高等専門学校
8月30日（水） 鳥羽商船高等専門学校

＜平成18年度4月期の申請者数・取得者数＞ （専攻区分別）

専 攻 分 野	専 攻 区 分	申請者数 （人）	取得者数 （人）
文 学	英語・英米文学	1	1
	歴史学	1	1
	心理学	2	2
教育学	教育学	13	11
社会学	社会学	1	0
教 養	比較文化	1	1
	地域研究	3	3
社会科学	社会科学	1	1
法学	法学	2	2
政治学	政治学	1	1
経済学	経済学	2	2
商 学	商 学	2	2
経営学	経営学	2	2
理 学	数学・情報系	1	0
	物理学・地学系	1	1
	化学系	1	1
	生物学系	1	0
	総合理学	1	0
看護学	看護学	215	188
保健衛生学	検査技術科学	26	25
	臨床工学	1	1
	放射線技術科学	58	54
	理学療法学	12	11
	作業療法学	7	7
	言語聴覚障害学	1	0
鍼灸学	鍼灸学	12	10
栄養学	栄養学	11	10
工 学	機械工学	17	13
	電気電子工学	10	4
	情報工学	5	5
	応用化学	1	1
	材料工学	1	1
	土木工学	5	4
	建築学	1	1
	社会システム工学	1	1
水産学	水産学	1	1
家政学	家政学	3	3
芸 術 学	音楽	13	8
	美術	6	4
体育学	体育学	1	1
合 計	合 計	445	384

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○ 107人に修士の学位を授与

－大学院修士課程相当の課程修了者－

平成18年3月に防衛大学校理工学研究科（前期課程）、同校総合安全保障研究科、職業能力開発総合大学校研究課程及び独立行政法人水産大学校水産学研究科を修了した修士の学位授与申請者に対して、理学、工学・芸術工学、社会科学及び水産学の各専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、8月25日（金）開催の学位審査会において最終審査が行われ、107人に対して学位を授与することを決定し、9月11日（月）に行った学位記伝達式において、木村機構長から各大学校に学位記が手渡されました。

<修士の学位取得者数>

認 定 課 程 名	専攻分野	取得者数 (人)
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	理 学 工 学	12 47
防衛大学校 総合安全保障研究科	安全保障学	12
職業能力開発総合大学校 研究課程	工 学	25
独立行政法人水産大学校 水産学研究科	水 産 学	11
合 計		107

○ 6人に博士の学位を授与

－大学院博士課程相当の課程修了者－

平成18年3月に防衛大学校理工学研究科（後期課程）を修了した博士の学位授与申請者に対して、工学・芸術工学専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、8月25日（金）開催の学位審査会において最終審査が行われ、6人に対して学位を授与することを決定し、9月11日（月）に行った学位記伝達式において、木村機構長から大学校に学位記が手渡されました。

<博士の学位取得者数>

認 定 課 程 名	専攻分野	取得者数 (人)
防衛大学校 理工学研究科（後期課程）	工 学	6
合 計		6



学位記伝達式（H18.9.11）

機 構 の 窓

○ 会議の開催状況

評議員会

平成18年度（第7回）平成18年6月20日（火）

・議事

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| (1) 中期目標・中期計画・年度計画について | (4) 平成17事業年度業務実績報告書等について |
| (2) 国立大学教育研究評価委員会委員の選考について | (5) 平成17事業年度財務諸表等について |
| (3) 会長一任による各種委員会委員等の追加発令について | (6) 評価事業及び学位授与事業について |
| | (7) その他 |

運営委員会

平成18年度（第9回）平成18年6月19日（月）

・議事

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| (1) 中期目標・中期計画・年度計画について | (5) 平成17事業年度業務実績報告書等について |
| (2) 法科大学院認証評価委員会専門委員の選考について | (6) 平成17事業年度財務諸表等について |
| (3) 国立大学教育研究評価委員会委員及び専門委員の選考について | (7) 評価事業及び学位授与事業について |
| (4) 会長一任による各種委員会委員等の追加発令について | (8) その他 |

大学機関別認証評価委員会

平成18年度（第1回）平成18年6月15日（木）

・議事

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| (1) 評価部会の編成等について | (4) 大学機関別認証評価実施大綱及び大学評価基準等について |
| (2) 運営小委員会の編成等について | (5) その他 |
| (3) 専門委員選考委員会の編成等について | |

短期大学機関別認証評価委員会

平成18年度（第1回）平成18年6月16日（金）

・議事

- | | |
|------------------------------------|---------|
| (1) 評価部会の編成等について | (4) その他 |
| (2) 専門委員選考委員会の編成等について | |
| (3) 短期大学機関別認証評価実施大綱及び短期大学評価基準等について | |

法科大学院認証評価委員会

平成18年度（第2回）平成18年9月28日（木）

・議事

- | | |
|---------------------------------|---------|
| (1) 書面調査による分析結果について | (3) その他 |
| (2) 第8章（8-1：教員の資格と評価）に係る取扱いについて | |

専門職大学院認証評価に関する検討会議

第3回 平成18年7月31日(月)

・議事

- | | |
|---------------------------|---------|
| (1) 専門職大学院の評価基準モデル(案)について | (2) その他 |
|---------------------------|---------|

国立大学教育研究評価委員会

第10回 平成18年8月23日(水)

・議事

- | | |
|---------------------|------------------------|
| (1) 教育研究評価の実施方法について | 国立大学教育研究評価委員会ワーキンググループ |
| (2) その他 | 第14回 平成18年6月30日(金) |
| | 第15回 平成18年7月24日(月) |
| | 第16回 平成18年8月10日(木) |

日英高等教育に関する協力プログラム日本側推進委員会

平成18年7月5日(水)

・議事

- | | |
|------------------------------------|---------|
| (1) 「京都フォーラム2006」以降の英国側との調整結果等について | (3) その他 |
| (2) 第3フェーズのテーマ及びその枠組みについて | |

学位審査会

第2回 平成18年8月25日(金)

・議事

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|
| (1) 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学士の学位授与の審査について | (5) 平成19年度認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について |
| (2) 認定課程修了者に係る修士の学位授与の審査について | (6) 平成18年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について |
| (3) 認定課程修了者に係る博士の学位授与の審査について | (7) 平成19年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について |
| (4) 平成18年度認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について | (8) その他 |

○ 研究部研究会開催状況

評価研究部研究会

評価結果を教育研究の質の改善・向上に結びつける活動に関する調査研究会

第2回 平成18年8月7日(月)

・講演

講演者：ピーター・セルディン氏〔アメリカ・ペース大学教授〕
エリザベス・ミラー氏〔アメリカ・ノーザンイリノイ大学助教授〕

※公開講演会(8月8日(火))については後述(P10)

民間的発想の経営手法の大学評価への活用に関する調査研究会

第1回 平成18年7月26日(水)

・講演 大学の戦略的マネジメント〔ウェスタンミシガン州立大学評価研究所 佐々木 亮氏〕

学位審査研究部研究会

学位システム研究会

第4回研究会が6月7日（水）に竹橋オフィス会議室で開催されました。同研究会は、学位の国際的通用性、学位の質的な内容・水準の保証という観点から基礎的な調査研究を行い、学位システムの再構築に向けて我が国の高等教育政策の参考に資することを目的としています。第4回研究会では、前田早苗氏（財団法人大学基準協会大学評

価・研究部部長）から「高等教育の質保証の動向—『保証すべき質』を考える視点—」について講演いただくとともに、その議論を踏まえて、学位システム研究会WG（調査作業グループ）において進めている各国調査の経過報告と今年度予定している訪問調査の検討を行いました。

○ ユネスコ/OECD「国境を越えて提供される高等教育の質保証に関するガイドライン」研修会の実施

平成18年7月18日（火）に、文部科学省高等教育局高等教育企画課国際企画室の舩井圭子専門官を講師に迎え、機構教職員対象の研修会を実施しました。この研修会は、平成17（2005）年にユネスコ、OECDで「国境を越えて提供される高等教育の質保証に関するガイドライン」が採択されたのを受け、同ガイドラインの内容理解を図るとともに、今後、より国際的な観点からの評価業務の遂

行に資することを目的として企画されたもので、40名を越す教職員の参加がありました。

講演では、同ガイドラインの中の認証評価機関に対する提言内容を中心に、ガイドラインの策定に至った背景や高等教育の質保証に関する国際的な情報ネットワーク構築の計画等について説明が行われました。



舩井専門官による講演



参加者による質疑応答・意見交換

○ 台湾師範大学教育評価・発展研究センター一行が機構を来訪

平成18年8月8日（火）に、台湾師範大学から陳瓊花副学長他3名が、日本及び韓国における教育評価研究機関訪問の一環として機構を訪問されました。

機構では、川口理事、木村評価研究部長が対応

し、機構の組織・運営、国際連携、大学評価事業などについて説明を行いました。台湾師範大学教育評価・発展研究センターは将来的に国立機関となることを計画しているとのことで、熱心な質疑が行われました。



台湾師範大学一行（右から4名）との記念写真

○ 公開講演会「授業評価で大学をどう変えるかーアメリカにおける取組みと成果ー」の開催

平成18年8月8日(火)に、KKRホテル東京において、当機構主催公開講演会「授業評価で大学をどう変えるかーアメリカにおける取組みと成果ー」を開催しました。

本講演会は、当機構が実施している「評価結果を教育研究の質の改善・向上に結びつける活動に関する調査研究」活動の一環として、近年高等教育機関における重要な課題となっている、授業評価の結果を教育の質の向上にいかに関与するか、という問題を取りあげ、米国より授業評価・授業改善に関する専門家2名を招へいし、開催したものです。

当日は、国公立大学及び短期大学等の授業評

価担当教職員を中心に全国から当初の予想を上回る173名の参加があり、この課題に対する関心の高さがうかがわれました。講演は同時通訳で行われ、授業評価結果を教員へフィードバックする際の手法や、評価方法、評価項目及び実施時期といった授業評価の取組み方等について、具体的な話題提供があり、講演後にも活発な質疑応答が行われました。また、講演の中で2、3名の小グループに分かれて解答を考えるクイズや、授業評価結果のフィードバック方法についてのデモンストレーションがあり、そうした講演スタイルも勉強になったという感想も聞かれました。

なお、当日のプログラムは以下のとおりです。

○開会挨拶

川口 昭彦(大学評価・学位授与機構理事)

○講演 1

「学生による授業評価が授業改善につながる時」

ピーター・セルディン氏

○講演 2

「授業改善に結びつく評価方針とは」

エリザベス・ミラー氏

○質疑応答

○閉会挨拶

川口 昭彦(大学評価・学位授与機構理事)



ピーター・セルディン氏による講演



熱心に講演を聴く参加者

○日本—ノルディック公開シンポジウムの開催

平成18年9月28日(木)に、国連大学ウ・タント国際会議場において、当機構主催日本—ノルディック公開シンポジウム「大学評価をどう活かすか—北欧の成功から学ぶ—」を開催しました。

(後援：文部科学省、朝日新聞社、デンマーク大使館、フィンランド大使館、アイスランド大使館、ノルウェー大使館、スウェーデン大使館)

この公開シンポジウムは北欧5カ国(デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン)及び日本国内から大学評価関係者を招き、基調講演、北欧の最新事例の紹介、パネルディスカッション等を行うことにより、今後の我が国の大学評価を考察することを目的に開催されました。

当日会場に集まった260名余りの参加者は、大学

評価において先導的な取り組みを実践している北欧5カ国の招へい者の講演、また我が国の大学評価の現状と今後の展望を内容とする日本の大学評価関係者の講演を熱心に聞き入っていました。またパネルディスカッション後の質疑応答においても会場から積極的に質問が出され、この問題に対する関心の高さが示されました。

なお北欧5カ国の招へい者は9月26日(火)に文部科学省を表敬訪問され、9月27日(水)に当機構の意見交換会に出席されました。最後になりましたが今回のシンポジウムの開催にあたり、ご参加、御協力くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。

当日の公開シンポジウムのプログラムは以下のとおりです。

○開会挨拶

木村 孟(大学評価・学位授与機構長)

Thordur Aegir Oskarsson(アイスランド大使)

○基調講演

「ヨーロッパで大学評価に何が起きているか」

Christian Thune(Executive Director, EVA, Denmark)

○北欧の成功事例

(大学評価をどのように役立てたかという成功事例の紹介)

Ossi Tuomi(Secretary General, FINHEEC, Finland)

Solrun Jensdottir

(Director, Department of Education, Ministry of Education, Science and Culture, Iceland)

Tove Blytt Holmen(Deputy Director General, NOKUT, Norway)

Staffan Wahlen

(Senior Advisor, Department of Evaluation, National Agency for Higher Education, Sweden)

○パネルディスカッション(1)

「大学は評価を教育・研究の質の改善にどう役立てるのか」

[パネリスト]

梶山 千里(九州大学長・国立大学協会副会長)

工藤 教和(慶應義塾常任理事)

河村 潤子(国立高等専門学校機構理事)

Christian Thune(Executive Director, EVA, Denmark)

Ossi Tuomi(Secretary General, FINHEEC, Finland)

Tove Blytt Holmen(Deputy Director General, NOKUT, Norway)

[モデレータ]

木村 靖二(大学評価・学位授与機構評価研究部長)

○パネルディスカッション(2)

「大学の評価を社会にどう伝えるのか」

[パネリスト]

清水建宇（朝日新聞社論説委員）

Roger K. Abrahamsen（Professor of UMB, Chair of NOKUT's Board, Norway）

磯田文雄（文部科学省大臣官房審議官）

Staffan Wahlen

（Senior Advisor, Department of Evaluation, National Agency for Higher Education, Sweden）

Solrun Jensdottir

（Director, Department of Education, Ministry of Education, Science and Culture, Iceland）

〔モデレータ〕

川口 昭彦（大学評価・学位授与機構理事）

○閉会挨拶

川口 昭彦（大学評価・学位授与機構理事）

※本シンポジウムの配付資料は当機構ウェブサイト（<http://www.niad.ac.jp/>）からダウンロードできます。



日本－ノルディック公開シンポジウム



Christian Thune氏による基調講演

○ 学位授与事業の現状と課題に関する研究会（第2回）の開催

平成18年6月27日（火）、東京工業大学百年記念館において、学位授与事業の設立及び運営に尽力してこられた田中郁三初代機構長を始め黒羽亮一、平則夫、齋藤安俊、小野嘉夫の各名誉教授を招き、機構からは木村機構長、橋本学位審査研究部長のほか学位審査研究部の教員8名が出席し、学位授与事業の現状と課題に関する研究会が開催されました。

本会は、平成16年7月の第1回に引続き開催されたもので、木村機構長からの機構を取り巻く諸状況の説明と橋本部長からの学位授与事業についての現況報告に引き続き、今後の諸課題等について活発な意見交換が行われました。各名誉教授からは、今後とも学位授与事業が着実に発展することに対する期待とともに、貴重な助言をいただきました。



右から、小野名誉教授、齋藤名誉教授、平名誉教授、黒羽名誉教授、田中名誉教授、木村機構長

○ 委員の異動

国立大学教育研究評価委員会

国立大学教育研究評価委員会の委員23人全員の任期満了に伴い、9人の方々が退任し、14人の方々が再任されるとともに、新たに9人の方々が就任されました。また、専門委員の3人全員が任期満了に伴い退任されました。

・退任（平成18年8月31日任期満了）

氏 名	退任時の職	在任期間
＜委 員＞		
内 田 博 文	九州大学教授	平成16年9月1日～平成18年8月31日
岡 田 益 男	東北大学教授	平成16年9月1日～平成18年8月31日
加 藤 祐 三	公立大学協会相談役	平成16年9月1日～平成18年8月31日
興 膳 宏	京都大学名誉教授	平成16年9月1日～平成18年8月31日
島 田 燁 子	学校法人文京学園理事長・文京学院大学長	平成16年9月1日～平成18年8月31日
清 水 雅 彦	慶應義塾大学教授	平成16年9月1日～平成18年8月31日
示 村 悦 二 郎	前北陸先端科学技術大学院大学長	平成16年9月1日～平成18年8月31日
二 宮 皓	広島大学副学長	平成16年9月1日～平成18年8月31日
本 庶 佑	京都大学特任教授	平成16年9月1日～平成18年8月31日
＜専門委員＞		
木 村 好 次	前香川大学長	平成18年4月1日～平成18年8月31日
関 啓 子	一橋大学教授	平成18年4月1日～平成18年8月31日
脊 山 洋 右	大学評価・学位授与機構客員教授	平成18年4月1日～平成18年8月31日

・国立大学教育研究評価委員23人（ は新任）

任期は平成18年9月1日～平成21年6月30日

氏 名	現 職	氏 名	現 職
浅 野 攝 郎	大学入試センター副所長	丹 保 憲 仁	放送大学長
飯 野 正 子	津田塾大学長	中 川 幸 也	石川島播磨重工業(株)代表取締役副社長
岡 田 修 三	東京海上日動火災保険(株)特別任命参与	中 洲 正 堯	兵庫教育大学特任教授
北 原 保 雄	日本学生支援機構理事長	中 野 仁 雄	九州大学名誉教授
木 村 靖 二	大学評価・学位授与機構評価研究部長	中 村 健 蔵	高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所教授
神 津 忠 彦	東京女子医科大学顧問・名誉教授	ハンス ユーゲン・マルクス	南山大学長
兄 玉 隆 夫	学校法人帝塚山学院長	前 原 澄 子	京都橘大学看護学部長
齋 藤 八 重 子	前東京都立九段高等学校長	松 岡 博	帝塚山大学長
白 幡 洋 三 郎	人間文化研究機構国際日本文化研究センター教授	馬 渡 尚 憲	宮城大学長
鈴 木 昭 憲	東京大学名誉教授	森 敏	大学評価・学位授与機構教授
瀬 戸 純 一	駿河台大学教授	和 田 敬 四 郎	放送大学石川学習センター所長
館 昭	桜美林大学教授		

○ 人事異動（平成18年9月）

年月日	氏 名	異 動 内 容	異動前等の職名
【国際連携センター】			
H18.9.1	田 中 弥 生	採 用	国際連携センター助教授
			東京大学大学院工学系研究科客員助教授

○ 中学生の職場体験学習を実施

小平市立小平第4中学校から職場体験実習の実施要請により、平成18年6月15日（木）、16日（金）の2日間にわたり、同校の2年生3名を迎えて、職場体験実習を行いました。

職場体験実習では、始めに、機構教員から、機構の業務等の説明を交えた講話が行われ、次いで、紙資源の有効利用及びウェブサイトの作成作業等の職場実習を行いました。

生徒たちは、当初、普段の中学校生活とは全く違った雰囲気緊張感にありましたが、実習作業を行っていくうちに緊張も解け、機構職員の説明に耳を傾けながら熱心の実習作業を行っていました。

職場体験実習を終えた生徒たちは、「大学が評価を受けなければならないことや、大学に行かなか

た人達も学位が取得できることが分かった。」「資源を再利用することの大切さが分かった。」等の感想を語っていました。



ウェブサイト作成作業の実習

編集後記

◇ 「大学評価・学位授与機構ニュース」第43号をお届けいたします。

今回の表紙は、「日本一ノルディック公開シンポジウム」の模様です。

◇ 「日本一ノルディック公開シンポジウム」を9月28日（木）に、国連大学ウ・タント国際会議場において行い、おかげ様でたくさんの方々に足をお運びいただきました。

◇ また、紙面にもありますとおり、大学認証評価に関しては、国際的な講演会やシンポジウムを多数実施しております。評価文化の発達している欧米から学ぶものも多く、これからの日本の評価文化の発展のために、機構職員として、ますます勉強に励み貢献をしていきたいところです。

◇ 6月末には各大学、短期大学及び高等専門学校から自己評価書が提出され、平成18年度の評価作業が本格的に始まりました。本年度申込みがあったのは、大学10校、短期大学1校、高等専門学校18校にのぼります。秋には訪問調査を予定しており、3月末には評価結果を各校へ提出しますが、実り多いものとなるよう努力していきたいと思います。

◇ 6月に実施した学位授与試験については、どの会場も天候にめぐまれ、遅刻者もなく、つつがなく執り行われました。試験の実施に御尽力いただいた関係者の皆様に御礼申し上げます。

◇ なお、短期大学及び高等専門学校の卒業者等を対象とする平成18年度4月期の学士の学位授与申請者から384人の学士が、また、機構認定の各省庁大学校の課程修了者から107人の修士及び6人の博士が誕生しました。学位を取得された皆様、本当におめでとうございます。

◇ 機構の実施する事業について広く国民の理解促進等を図るため、広報活動の充実に取り組んでおります。この「機構ニュース」を御覧になっていただいております皆様方には、機構についての御意見や御質問をお寄せいただけましたら幸いです。

(S. T)

編集 独立行政法人大学評価・学位授与機構広報委員会

連絡先 〒187-8587

東京都小平市学園西町1-29-1

独立行政法人大学評価・学位授与機構管理部総務課

電話 / Fax 042-353-1516/1552

ホームページアドレス <http://www.niad.ac.jp/>